

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：TEL:03-3541-5151

担当者の所属・氏名：消化器内科 山本 和輝

【研究責任者】 聖路加国際病院 消化器内科 山本 和輝

分枝型膵管内乳頭粘液性腫瘍（BD-IPMN）の方を対象とした画像検査に関する研究

1.研究の対象

2004年4月1日から2021年11月30日までに聖路加国際病院で分枝型膵管内乳頭粘液性腫瘍（BD-IPMN）に対しCTやMRIでの検査を継続している方。

2.研究の目的・方法

分枝型膵管内乳頭粘液性腫瘍（BD-IPMN）は、膵がんに進化する可能性があるためCT・MRIなどによるサーベイランスが推奨されています。しかしながらサーベイランスを中止するタイミングは明確に定義されておりません。危険因子を有する高齢患者のグループでも、5年間の疾患特異的生存率は96%と報告されていることから、危険因子を持たない高齢者の小さなBD-IPMNに対する長期フォローアップの有用性は必ずしも高いとは言えません。そのため、BD-IPMNサーベイランスの有用性について評価するため、本研究を行います。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、カルテ番号、血液検査、画像検査、病理検査等

•